



Fukuoka Prefectural University

福岡県立大学広報

Kendai

magazine 2018 春号

no.24

Contents

卒業式	P2
成績優秀者	P3
秋興祭/YOU・遊・マップたがわーど	P4
就職活動奮闘記	P5
理事長・学長の再任/第3期中期目標・中期計画	P6
選書ツアー/ アクティブラーニングを取り入れている授業紹介	P7
国際交流/国際交流寮(男子学生寮)	P8
サークル紹介	P9
教員研究紹介	P10
人間社会学部長・人間社会学研究科長の退任/ 看護学部長・看護学研究科長の退任/ 退職教員紹介	P11
基金、入学者のみなさまへ	P12



卒業式

平成30年3月16日、平成29年度卒業式が行われ、学部258名、大学院23名の計281名に卒業証書・学位記が授与されました。

柴田洋三郎学長はフランスの科学者ルイス・パスツールの「Chance favors only the prepared mind」という言葉を紹介し、日々prepared mindを心がけ、何事にも積極的に取り組んで欲しいという激励の言葉を送りました。

次に、公共社会学科の永田そのみさん、社会福祉学科の有永花織瑠さん、人間形成学科の下満由貴さん、看護学科の西桂奈さん、幸成美さん、重田明里さんの計6名の卒業生が成績優秀者として学生表彰されました。

学部卒業生代表として看護学部の重田明里さん、大学院修了生代表として看護学研究科の結田希望さんが謝辞を述べ、最後に福岡県立大学吹奏楽団の伴奏、コーラス部の合唱とともに学歌を会場全員で斉唱して式を終了しました。



▲謝辞を述べる重田明里さん



▲謝辞を述べる結田希望さん



▲式辞を述べる柴田学長



▲学歌斉唱



人間社会学部
公共社会学科
永田 そのみ

大学での4年間では、サークル活動や学業、アルバイトなどを通して様々なことを経験することができました。特に記憶に残っているのは、学祭実行委員会での活動です。学祭委員だけではなく地域の人々など多くの人と関わり、人との出会いの大切さを学ぶことができました。大学生活で多くの人と出会いに関わられたこと、信頼できる友人ができたことが一番の収穫だったと思います。4年間、時には辛いことや大変なこともありましたが、友人や先生方の支えのおかげで乗り越えることができました。これから社会人になりますが、学生生活で得た経験を忘れずに頑張っていきたいと思っています。



人間社会学部
社会福祉学科
有永 花織瑠

福岡県立大学で過ごした4年間では多くの経験をすることができました。特に3・4回生での実習では、福祉の仕事の難しさを感じる一方で、その中での出会いや頂いた言葉が福祉の道で頑張ろうと思わせてくれました。初めて経験するひとり暮らしやアルバイトと学業の両立は苦しい時もありましたが、生活するということや自分の時間の楽しみ方を学ぶことができました。4年間の楽しかったこと、大変だったことのどれもが自分を成長させてくれたし、その中でいつも多くの支えてくれる人たちがいました。これからも様々なことに積極的に挑戦していき、出会いや支えてくれる人々への感謝を大切に頑張っていきたいです。



人間社会学部
人間形成学科
下満 由貴

入学時の志望理由書を読み返すと「私を支えてくれた人たちの温かい思いを繋いでいきたい」という一節がありました。大学生活はこのような志の下、講義やゼミ、様々なボランティア活動を通じ自己や他者理解を深めていくことができたと感じています。歩みの遅い私が様々な学びを得られたのは、ひとえに丁寧なご指導をして下さった先生方、先輩や友人、家族のおかげです。深く感謝申し上げます。大学生活で得た経験や知識をどのように支援に生かして行くか模索中ですが、修士課程で少しでもその答えを見つけていきます。そして、出会った方の希望の灯となれるような心理士を目指していきます。本当にありがとうございました。

成績優秀者 として表彰されたみなさん



看護学部
看護学科
西 桂奈

4年間の大学生活では、講義や実習に加え、ボランティア活動など様々な経験を積むことができました。特に、大学3年後期からは、看護実習に加え、教育実習や教員採用試験、看護師国家試験が続き忙しい毎日でしたが、先生や友人に支えられ、乗り越えることができました。失敗することもあり、辛い時もありましたが、かけがえのない友人と励まし合い努力した経験は、この先の自分にとって大きな糧になると思います。学生を終え、社会に出るといことは決して楽なことばかりではないと思いますが、大学生活での経験を活かし、より一層気持ちを引き締め、日々精進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。



看護学部
看護学科
幸 成美

私は、この4年間、特に3年次から4年次にかけての実習、就職活動、卒業論文、国家試験という大イベントを乗り越えていく中で、どんな時も誰かに支えられている、ということに気づくことが出来ました。廊下ですれ違うたびに笑顔で挨拶や近況をお聞きして下さった先生方、実習を共にしたグループの仲間、同じ時を一緒に過ごした友人、そして、いつでも帰ることのできる家族という存在が、次の一歩を踏み出す勇気と元気を与えてくれました。卒業後は、これらの大切な人の笑顔や存在を胸に県大生としての誇りを持って働いていきたいと思っています。4年間、ありがとうございました。



看護学部
看護学科
重田 明里

私は、養護教諭になるために福岡県立大学に入学しました。この4年間を思い返すと、様々な講義や看護実習・教育実習、就職試験、国家試験に向けた勉強など、とにかく忙しく勉強に追われる日々でした。楽しいことよりも辛くきつかったことが、はるかに多いはずなのに、思い出すのは友人たちと励ましあいながら頑張った楽しい思い出や先生方が私たちを信じ支え続けてくれた感謝の気持ちばかりです。この大学4年間で、本当に様々な人に支えられていると感じました。次は、大学で学んだことを生かし、私の子供たちを信じ続け、支えていきたいと思っています。4年間、本当にありがとうございました。



第26回秋興祭の開催を祝うかのような好天の中、今年も大変多くのご参加を賜り、深く感謝申し上げます。両日ともに会場は、その日差しに負けんばかりの眩しい笑顔で溢れておりました。

今年の秋興祭でも、地域の皆様と学生がともに創り上げるステージや、子どもから大人まで楽しめる企画など幅広く皆様楽しんでいただける催しを取り入れました。

また、毎年恒例の模擬店や、大アート、幻想的に会場を照らす提灯なども多くのお客様にご覧いただき、大成功に終わることができました。これもひとえに皆様の暖かいご支援の賜物と、委員一同心より感謝しております。

今年も、委員全員が努力を惜しまず、皆様を笑顔にする秋興祭を作るために尽力してまいりました。テーマ通り、実行委員とご来場くださった皆様の想いの糸が紡がれ、また新たな歴史が刻まれたのではないのでしょうか。そして、来年、再来年とさらなる発展を遂げ、いつの時代も皆様を笑顔にできる場所でありたいと思っております。今後とも温かいご支援のほどよろしくお願いいたします。



第26回秋興祭実行委員会
実行委員長 加藤 優花



第26回 秋興祭

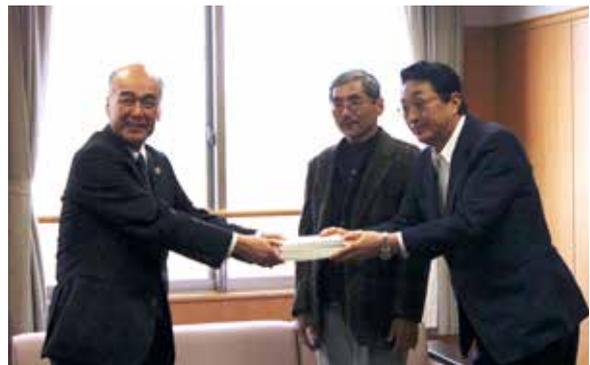
S Y U K O U S A I

本学に

“YOU・遊・マップたがわーんど”が
贈呈されました

平成29年12月19日に福岡県立大学と共に歩む会秋吉会長より、本学に“YOU・遊・マップたがわーんど”が贈呈されました。“YOU・遊・マップたがわーんど”は、本学学生にもっと田川を知ってもらいたいという思いから、田川地域の飲食店・観光情報などをまとめた冊子となっており、福岡県立大学と共に歩む会と本学学生・留学生により結成された編集委員会により作成されました。

同冊子より本学学生はよりよい学生生活を過ごせるようになるかと思われまます。福岡県立大学と共に歩む会様に心より感謝を申し上げます。



就職活動 奮闘記



人間社会学部 公共社会学科

池田 匠見

内定先

太宰府市

私は太宰府市役所の職員として、4月より勤務させていただくこととなりました。

地元の太宰府市で市役所職員として働きたいと思い、大学2年の後期から公務員対策講座を受講しました。筆記対策の具体例として、大学2年から3年までは基礎問題を何度も解くこと、教材 DVD を視聴して理解をさらに深めることを主軸にし、試験直前期は過去問を何度も解くということを行いました。また、面接対策はキャリアサポートセンター等で練習を入念に行いました。

就職先に公務員を考えている方は、なるべく早くから対策、情報収集を始めるべきだと思います。公務員対策は自分との闘いです。ただ講座を受講するだけでなく、自主学習を行い続けることが大切です。自分としっかり向き合って、就職活動、公務員試験に臨んで下さい。



人間社会学部 社会福祉学科

山元 祥

内定先

**独立行政法人
高齢・障害・求職者
雇用支援機構**

元々公務員志望で、かつ大学の講義や実習で学んだことを生かせる福祉分野の仕事に就きたいと考えていました。先生や先輩方から情報をいただいたうえで、「共生社会を目指す」という理念に共感し、高齢・障害・求職者雇用支援機構に就職を希望しました。

筆記試験は過去問題集や国家試験問題集を活用し、分野を絞って様々な問題スタイルに慣れることを意識しました。面接試験については、実際に見学に通って話を聞くことで情報を集めました。ゼミの先生やキャリアサポートセンターの方々にも面接練習をしていただいたおかげで、上手に話そうとするのではなく、自分の考えが相手に伝わるように意識することが大事だと学び、本番でも落ち着いて臨むことができました。

春から社会人としての自覚を持ち、日々精進していきたいと思っています。



人間社会学部 人間形成学科

福澤 加菜

内定先

飯塚市（保育士）

私は地元で働きたいと考えていたため、飯塚市での就職を希望しました。最初は、私立か公立の園かで迷っていたため、公務員試験の勉強に力を入れ始めたのは、周りよりも遅い4年生の6月でした。不安も多かったのですが、たくさんの周囲の方々に支えられ乗り越えることができました。実際の試験では、筆記試験、面接試験の他に、論作文試験、集団討論などがありました。試験内容が多く大変ではありましたが、キャリアサポートセンターの方々や、先生方に添削・指導をしていただきながら対策を行いました。また、就職活動中は公立保育士を目指す友人たちとお互いに面接や集団討論の練習も行いました。一緒に頑張れる仲間が近くにいてくれたことはとても励みになりました。

春からは保育士として日々成長していけるよう頑張ります。



看護学部 看護学科

椿原 陵加

内定先

広島市（保健師）

私は地元で就職したいと思い広島市の説明会に参加し、保健師になりたいと思うようになりました。

筆記試験は専門・一般教養の2つがあり、公務員試験の勉強・国家試験問題集での対策を行いました。面接・論文対策は、教員の方々に添削・指導をしていただきました。就職試験は実習や授業と重なっており、課題などを終え対策に取り組むという日々で、十分に準備することができていないこともありましたが、しかし実習や授業などの経験や学びを面接で活かすことができ良い経験をさせていただきました。

心が折れそうになった時、こんな保健師になりたいと考えモチベーションを保ち、何事にも取り組んでいました。目標を見つけるということはとても大切なことだと思います。4月から保健師として常に成長していくことができるように頑張ります。

理事長・学長が再任されました

本学理事長・学長の任期が平成30年3月末で満了することに伴い、次期理事長・学長の選考が行われ、柴田 洋三郎氏が理事長・学長に再任されました。

1 次期理事長・学長の略歴等

- 氏名
柴田 洋三郎 (しばた ようさぶろう)
- 略歴等
 - 昭和46年 九州大学医学部医学科卒業
九州大学附属病院研修医
 - 平成 9年 九州大学副学長(～15年)
 - 平成16年 国立大学法人九州大学 理事・副学長(～20年)
 - 平成22年 独立行政法人大学入試センター
試験・研究統括官(副所長)(～23年)
 - 平成24年 公立大学法人福岡県立大学理事長・学長

2 次期理事長・学長の任期

平成30年4月1日から2年間



第3期中期目標・中期計画がスタートします

本学は平成18年4月1日に公立大学法人(地方独立行政法人)移行後、6年毎に設立団体である福岡県が定めた中期目標に対して中期計画を策定し、着実に実施してまいりました。法人化から12年が経過し、平成30年度から第3期中期目標・計画期間(2018年度(平成30年度)～2023年度(平成35年度))に入ることに伴い、平成29年12月に、福岡県から本学に第3期中期目標が示されました。

現在、少子・高齢化社会の進展に伴い、地域においては、保健・医療・福祉サービスなどを一体的に提供できるような多職種協働による包括的支援体制の構築が求められています。こうした社会的要請に応えるため、本学は、人間社会学部と看護学部を有する公立の保健・医療・福祉系の大学として、福祉社会の充実に貢献できる専門的支援力を養成し、将来の多様なニーズに包括的に対応できる人材を育成すること、地域の課題に積極的に取り組

み、両学部が共同して学際的な教育・研究・社会貢献を行うことを使命とし、第3期中期計画を策定いたしました。

この第3期中期計画は、「教育」「研究」「地域貢献及び国際交流」「業務運営の改善及び効率化」「財務内容の改善」「自己点検・評価及び情報の提供」の6つの目標に対して設定した19項目、48実施事項から成り立っています。

第3期中期目標・中期計画の実現に向けて、大学改革を推進し、教育・研究・社会貢献等の諸活動において、存在感のある、個性あふれる大学を建設すべく、教職員が一丸となって取り組んでまいります。

※第3期中期目標・中期計画の詳細については本学HPをご覧ください。

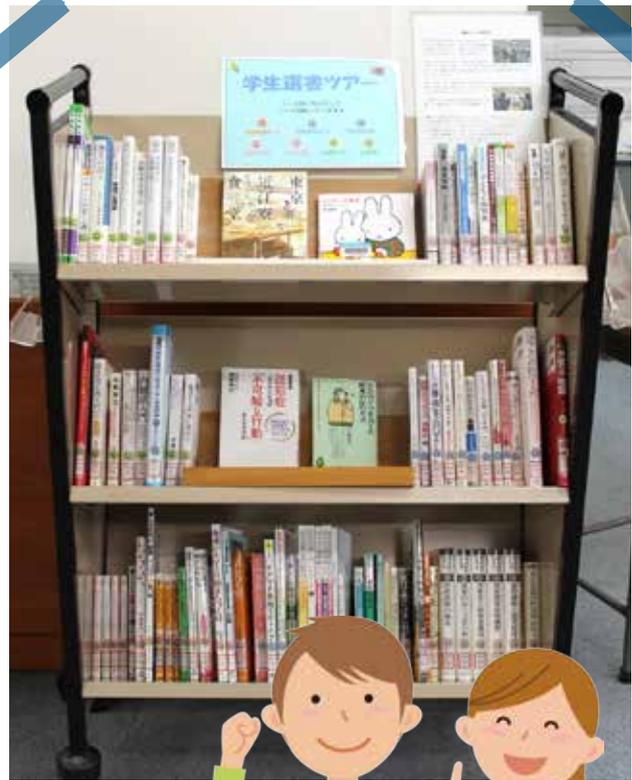
選書ツアーを実施しました

選書ツアーが、平成29年11月26日午後1時から約2時間にわたって、福岡市中央区天神にあるジュンク堂で開催されました。このツアーは、学生にとって必要な本を学生自身に選んでもらい、学生のアクティブラーニングを促進するとともに、学生のさらなる図書館利用を促進することを目的としたものです。

全学生への呼びかけに応じた、人間社会学部、看護学部、大学院から8名の学生が集まり、それぞれの専門に応じた本を選んでいきました。熱心な選書の結果、60冊の本が選ばれました。

選ばれた本は、すでに図書館に所蔵されている分を除き、図書館本館・分館のカウンター前に配架されています。これらの本は学生への貸し出し数も多く、閲覧する学生の姿も多く見られ、授業・ゼミなどの参考書籍として多に活用されています。下記のウェブサイトでは選ばれた本の一覧をご覧ください。

なお、この選書ツアーは、福岡県立大学後援会に支援いただき実施することができました。ご厚意に感謝いたします。



→ <https://booklog.jp/users/tosyo100>



アクティブラーニングを取り入れている授業紹介

「公共社会学科・社会調査実習」のアクティブラーニングの実践

本実習は、問いの設定→文献調査・事前調査での仮説の設定→調査票の作成→実査→データの分析→結果の考察という一連の過程に学生が主体的に参加しスキルを修得することをねらいとしています。平成29年度、佐野麻由子先生のクラスでは、「田川市民の地域づくり、地域資源の評価」という調査テーマを設け、市民の皆様にご協力いただきました。事前学習では、田川市石炭記念博物館を訪れ地域の歴史を学び、田川市には石炭遺構以外にも、古墳や浄瑠璃といった地域資源があることを知りました。質問紙調査からは、市民の方々が地域活性化を導く地域資源として、石炭遺構(回答者の8.8%)や山本作兵衛(7.9%)の他に、神幸祭(37.9%)、福岡県立大学(14.0%)を挙げていることがわかりました。また、質問紙調査と並行して、貝島炭鉱からドイツに派遣された執行龍美さんに3度にわたり当時の状況についてお話をうかがいました。お話から、ドイツの炭鉱では機械化が進み、当時では珍しい週休2日が採用されていたこと、ドイツの組合は日本と異なり会社が組合費を出し運営していたこと等、労働環境の違いについて学びました。学生たちは調査スキルを修得しただけでなく、田川の歴史や日独の石炭産業について深く学ぶことができました。



佐野 麻由子 准教授



短期日本語研修生が小学校訪問をしました



平成30年1月22日～2月5日にかけて、本学提携校である大邱韓医大^{てくかんいだいがくどう}（韓国）より短期日本語研修生を受け入れました。短期研修生の受け入れは今年で3回目になります。研修生達は2週間の間、本学で日本語授業を受け日本の文化を体験しました。

1月30日には田川市立伊田小学校を訪問させていただきました。1年生から6年生までの授業を見学し、元気な生徒達とふれ合いました。研修生達は小学生が積極的に手をあげ授業に参加している姿勢や、子どもの時から人権について学習を受けていることなどに新鮮な驚きを感じたようです。低学年クラスの生徒が漢字をきれいに練習している姿を見て「私もここでいっしょに勉強したい」と言う研修生もいました。研修生一人ひとりが貴重な体験をさせていただきました。

国際交流

本学初の国際交流寮（男子学生寮）を整備しました

本学では、このたび既存の女子学生寮に加え、大学の敷地内に新たに国際交流寮（男子学生寮）を整備しました。

この寮は各戸とも個室3室と共用のLDK、バス、トイレ、洗面台等を備えた3人部屋で日本人学生と留学生が共同生活をおくります。

学生は寮での暮らしを通じて多様な価値観や考え方に触れることで、異文化に対する理解力や外国語能力を身につけることもできます。今後、この寮は本学の国際交流の進展に寄与するものと期待されます。





運動系サークル

バスケットボール部

こんにちは！わたしたち男子バスケットボール部はプレーヤーとマネージャーを含め22名で活動しています。毎週火曜日と土曜日に19時～22時まで、基本的に試合を中心に練習を行っています。部員は初心者から経験者まで幅広く、学年の壁をこえてアドバイスを出し合い、日々上達できるよう練習に励んでいます。主な大会は、春季リーグ、九州インカレ、北九州インカレに出場しており、そこで上位に入ることを目標としています。その他にも、田川リーグ、OB戦、練習試合など行っています。

また、男子バスケットボール部は他の部活とは違い、女子バスケットボール部と合同で練習を行うことも多くあります。男女混じって試合をしたり、合宿も男女バスケットボール部合同で行っています。このように、男子バスケットボール部にとどまらず多くの人と関われ、友達も増えること間違いありません！男子バスケットボールと聞くと経験者じゃないと厳しいイメージがありますが、そうではありません。実際に大会などでも初心者の方の活躍によって試合を優位に運べる場面も多々あります。初心者の方も経験者の方も大歓迎です。ぜひ一度、練習を見に来てください！

【部長】看護学部 看護学科
山下 拓人



サークル紹介



文化系サークル

茶道部

皆さんこんにちは！私たち茶道部は、現在21名の部員と2名の外部講師の先生方と一緒に活動しています。

主な活動は茶道と着付けの2つです。それぞれのお稽古は週に一度ずつ、別日に行っています。お茶だけ、着付けだけ、もしくは両方…など、やりたいことを自分のペースで行えるので、兼部もしやすいです。流派は表千家で、部員一人ひとりがお点前（お茶をたてること）を練習したり、お茶とお菓子を頂いたり、ひとりでは着付けができるよう練習したり、たまにお喋りに花を咲かせたりする、和気あいあいとしたサークルです。

また、行事としては、各地で開催されるお茶会に参加すること、韓国・中国からの留学生への茶道体験などがありますが、一番は文化祭です。お茶席を設け、着物を着た部員がお客様にお茶とお菓子をお出しします。席のテーマや会場設営、ヘアアレンジなど、先生方の手を借りつつ部員が協力して催します。日ごろの練習の成果を発揮する数少ない機会なので、楽しみながら一生懸命頑張っています。

部員には未経験者も半数ほどいます。自分で抹茶たててみたい、着付けができるようになりたい、のんびりサークルしたい、と思った方は性別年齢経験問わず、ぜひお茶室に足を運んでみてください。部員一同、いつでもお待ちしております！

【部長】人間社会学部 社会福祉学科
永光 裕美



運動やスポーツ活動を含めた 身体活動による心身の変化について 研究を進めています。

人間社会学部 総合人間社会コース

講師 中原 雄一



運動やスポーツ活動を含めた身体活動による身体的・精神的変化について研究を進めており、時には、写真にあるように自身が被験者となって検討を行う事もあります。今回は、特に身体活動と精神的健康との関係について、2つの研究を紹介したいと思います。

1 勤労者の介護の状況と精神的健康度 身体活動量について

近年、働きながら介護をする人が増えつつあり、介護のために仕事を辞める「介護離職」が社会問題になっています。この研究では、介護を行っている勤労者に焦点をあて、その実態について検討しました。

勤労者約1万人を対象に、質問紙を用いて介護の状況と精神的健康度、身体活動量について調査しました。その結果、介護をしている人は介護をしていない人に比べ精神的健康度が低く、自宅での身体活動量が多いことがわかりました。特に、女性は自宅での身体活動量がある一定のレベルを超えると、精神的健康度が悪化することが明らかとなりました。なお、自宅での身体活動量は介護に伴う身体活動も含まれています。

この結果を論文として発表したところ、昨年「第18回川井記念賞」（厚生労働統計協会）を受賞することができました。これは、本研究が社会のニーズに合致した結果だと思われれます。今後も社会のニーズをくみとって研究を進めていくことができると考えています。

2 青年期におけるスポーツ活動と 精神的健康度の関係について

青年期における主なスポーツ実施機会は運動部活動や体育の授業ですが、大学生は運動部での活動率が中高生と比べ半数以下まで減少する事が報告されています。さらに、大学における体育の授業は中学・高校と異なり、本学のように週1回、1年生のみ履修の場合が多く、大学によっては必修でないところもあるため、中学・高校までと比べてスポーツ活動の著しい減少が推察されます。そこで、大学生を対象に、運動部活動所属の有無によって精神的健康度に違いがみられるかについて検討しています。大学1年次において比較した結果、運動部に所属している学生は所属していない学生に比べ精神的健康度が良好である事がわかりました。この研究は、文部科学省の科学研究費（研究課題番号：26750328）や学内の研究奨励交付金によって実施しており、現在は、学年が進むにつれ変化がみられるかどうかについて縦断的に検討しています。また、他の大学や研究機関の先生方と共同で、福岡県内の高校生を対象とした研究も進めています。これらの研究を通して、青年期におけるスポーツ活動の重要性を科学的に示し、研究結果を大学の授業においても活かしていきたいと考えています。



◀実験風景



▲川井記念賞授賞式



大学生測定風景▶

人間社会学部長・ 人間社会学研究科長の退任

平成26年度より人間社会学部長・人間社会学研究科長に就任されておりました田中哲也教授が平成30年3月31日付けをもって退任および退職されます。

就任されてからは、人間社会学部の学科制を残しつつも社会の変化に対応したコース制（5コース）への改編、「全学横断型教育プログラム」と各コースの履修課程との連携など、人間社会学部改革にご尽力されました。また、人間社会学研究科についても、平成29年度より開設された「子ども教育専攻」の設置などにご尽力されました。

田中哲也教授がご尽力された人間社会学部・人間社会学研究科は、これからも、高度福祉社会を担う専門的職業人の養成等、社会に貢献してまいります。



看護学部長・ 看護学研究科長の退任

本学は、2016年に「大学機関別認証評価」を受け、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしていると判断されました。看護学部においては、この認証評価で経験したことを生かし、また2019年開始の新カリキュラムに向け2017年に「新教員組織の見直しについての基本方針」を定めました。その背景には、新カリキュラムを中心とした教育への対応や、学生の実習負担（期間・経費）の軽減を図ること等があります。特に各論の専門看護学実習については3年次で終了するように、また地域包括ケアの時代に向け在宅看護学実習を4年次前期の配置になるような実習計画を検討しています。保健医療福祉社会で中核的人材として活躍する看護専門職者の育成を目指すために、教育環境を今以上に整える必要があります。引き続き地域住民や施設の方々のご支援とご協力をお願い申し上げます。

看護学研究科の修士課程は、長期履修制度や夜間・土日開講等の学修環境を整え、研究コース、専門看護師コース、助産実践形成コース、助産実践アドバンスコースを開設しています。新年度から博士課程の開設に向け検討を開始致します。



退職教員の紹介

[看護学部]

【平成30年1月31日付】

助手 **柴北 早苗**

[人間社会学部]

【平成30年3月31日付】

教授 **平部 康子**
准教授 **水野 邦太郎**

[看護学部]

講師 **大島 操**
助教 **佐田 佳子**



福岡県立大学基金のご案内

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実を図り、福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的に基金を設置しています。寄附金は、学生支援、国際交流、教育研究活動等の実施に活用されますが、用途を指定することもできますので、皆様のご支援をお願いします。

なお、公立大学法人である本学への寄附は、所得税や法人税、個人県民税等の優遇措置が設けられていますので活用ください。

【寄附金受入口座】

福岡銀行 伊田支店 普通 2100481
ヨウリツダイガクホウシヤクオカケンリツダイガク
 口座名義 公立大学法人福岡県立大学 柴田 洋三郎 シバタ ヨウサブロウ
 ※寄附をされる場合は、事前にご連絡をお願いします。

【連絡先】

事務局経営管理部総務財務班 TEL 0947-42-2118



入学者のみなさまへ

●学生自治会費

新入生:20,000円、編入生:10,000円

○自治会費とは

学生が行う学内活動の運営費は、学生が納める自治会費によってまかなわれています。

●後援会

福岡県立大学後援会は、大学と保護者の連携のもとに、学生の就職活動やキャリア形成支援、学生の修学や課外活動の助成、学生生活の安全対策等の各種支援事業を積極的に行っています。

【後援会費】

	入会金	会費
学部生	40,000円	40,000円
編入生	40,000円	20,000円
大学院生	本学出身者(在学時後援会加入者)	0円
	本学出身者(在学時後援会未加入者)及び他大学卒業生	20,000円

【後援会の主な事業】

合宿フォーラム補助、実習補助(実習時超過旅費・宿泊費・マンスリー賃貸料等)、公務員講座受講補助、合同企業説明会バス借上料、卒業アルバム作成補助、謝恩会補助、各サークルへの助成(登録費・遠征費・傷害保険等)、図書等の購入(書籍・DVD・CD・新聞等)、大学祭補助 等

●同窓会

福岡県立大学同窓会は、県立大学卒業生をはじめ、前身校である福岡県社会保育短期大学、福岡県立保母養成所、福岡県立保健婦養成所、福岡県立公衆衛生看護学校、福岡県立看護専門学校卒業生と準会員である福岡県立大学在学学生、特別会員である現旧母校職員で構成されています。多くの同窓生が全国各地の保健・看護・行政・企業・社会福祉関係等様々な分野で活躍しています。

【同窓会費】

入会金：10,000円(入学時)、年会費：1,500円(卒業後)

【同窓会事業】

会報の発行、WEB サイト、同窓会名簿の編集、同窓会総会(2年に1回開催)、大学の発展に関する協力、会員及び学生の就職活動援助、社会貢献事業

【連絡先】

福岡県立大学同窓会 (開局日：月・水・金)
 福岡県田川市伊田4395 福岡県立大学3号館1階3108号
 TEL (FAX 共用) 0947-42-2777

●福岡県立大学生生活協同組合

【出資金】

15,000円(卒業時にお返しします)

【学生総合共済・学生賠償責任保険】

生命共済：12,800円(1年間の掛金)

火災共済：2,000円(1年間の掛金)

学生賠償責任保険：5,800円(学部生：4年間の保険料)

3,120円(大学院生：2年間の保険料)

大学生生活で起こりうる、もしもの場合に備えるためのものです。実習等に参加する場合には、賠償責任保険に加入する必要があります。詳しくは福岡県立大学生生活協同組合配布のパンフレットで確認してください。

